

## 「めざせ！『エアコンいらずの家』モニターキャンペーン」を実施

アキュラホームの“買電0(ゼロ)実証実験”で得た成果に基づき、  
 住まい手と共に、エアコンを使用しなくても快適に過ごせる生活を目指します！

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢 俊哉)は、10月15日(土)から11月30日(水)の期間(※1)、当社が取り組んできたエコ・コンセプト(環境共生)に賛同いただける方を募集する「めざせ！『エアコンいらずの家』モニターキャンペーン」をスタートしました。当社で契約の上、応募いただいた方の中から抽選で30名様に、四季を感じながら快適に暮らすためのエコ設計(エコ仕様設備)・エコ暮らしの提案と、エコ特別仕様をモニター特典としてお付けいたします。1年間のモニター期間中は、電力使用量と温度情報を提供いただき、地域の特性を考慮しながら暮らし方の工夫によって、エアコンなどの設備を使用しなくても快適に過ごせる生活を目指します。

※1 期間は一部エリアによって異なります

当社は「エコ住宅こそ、手の届く価格で」をエコ・コンセプトに、設備だけでなく、自然エネルギーを利用する設計や先人の知恵を踏まえた暮らし方の工夫など、様々な角度から快適なエコ住宅を目指し取り組んでいます。また、エコ仕様の住宅を建てるだけでなく、住まい手(お客様)に“暮らし方”を提案し、共に楽しみながらエコに取り組んでいただけるようサポートしています。

その一環として今夏当社では、電力会社からの電力を買わずに生活する実証実験「買電0チャレンジ」を実施し、結果21日間の買電0を達成しました。(2頁目に詳細記載) この成果を基に今回各地域のモニターを募集し、四季を感じながら快適に暮らすためのエコ設計(エコ仕様設備)・エコ暮らしを提案し、エコ特別仕様を提供します。1年を通じて各地域のモニターのご協力を得ながら、今後の地域特性を活かした商品開発・暮らし方提案を行っていきます。

### ■ モニター特典

#### ① エコ仕様設備をグレードアップ

エアコンいらずの生活をより快適にするエコシステム。外観では遮熱スレート屋根、深い軒の出・オーニング、内装ではLED照明、地窓&高窓、通風型玄関ドア、蓄熱暖房器具など、適材適所の仕様・設備をご提案・ご提供します。



#### ② エコ設計提案

##### チーフデザイナーによるエコ設計シミュレーション

実証実験のデータに基づいて、一邸一邸ごとの敷地条件や日照・通風条件などをコンピューターを使ってシミュレーション。精密な分析によりお客様の住まいに最適な外観デザインや間取りをプランニングいたします。



#### ③ エコ暮らし提案

##### チーフデザイナーによるエコ暮らし提案

住宅の性能に頼るだけでなく、ちょっとした工夫を取り入れたり、四季を知り、自然の力・先人の知恵を活用したり。暮らしを彩るワンポイントによって、更に快適で豊かなエコ暮らしをご提案します。



#### ④ 四季エコグッズ

##### 四季に合わせてエコグッズをお届け！

日本には、四季の移り変わりを楽しむ文化があります。当社ではそんな日本の家ならではの、季節を楽しむ豊かな暮らしを演出。季節に合わせて一年間「お楽しみエコグッズ」をお届けします。



### さらにHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)を設置

家電製品や設備機器をつなぐことで、家全体のエネルギー使用量が一目で分かるシステム。省エネ目標値の達成状況やアドバイスをコントロールパネルに表示して、我が家の省エネをサポートします。

募集期間：10月15日(土)から11月30日(水) 一部エリアによって異なります

モニター募集要項：当社で契約し、2012年6月末までにご入居いただける方。お引渡し後、1年間のモニターにご協力いただける方。現場見学会にご協力いただける方。取材(インタビュー・事例公開等)にご協力いただける方。

申込み方法：当社ホームページ(<http://www.aqura.co.jp/saveenergy/>)、又は各支店にお問い合わせください。

### <本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

## ■ “買電0（ゼロ）チャレンジ” 実証実験

今年8月、当社社長宅(埼玉県さいたま市)にて、“買電0(ゼロ)チャレンジ”実証実験を実施しました。太陽光発電、太陽熱温水器、風力発電を搭載して発電した電力を蓄電池で蓄電することで、電力の自給自足を目指すとともに、その一方で使う電力量を極限まで減らすために住まいのエコ仕様化を行いました。熱に関しては、日射遮蔽と蓄熱による輻射熱の低減を実現すべく、ひさしとオーニングの設置、屋根の遮熱塗装、庭の塀をアクリルから木製格子へ変更。通風に関しては、温度の低い場所に涼風口を新設し、冷たい風を室内に効果的に送り込む他、風が吹き抜ける欄間付きのドアを設置するなどしました。さらに、視覚や聴覚などの五感から涼を感じ体感温度を下げるために、寒冷色のインテリアや小物を採用。結果、買電0(ゼロ)生活は21日間達成。夏場屋外との温度比は最大-6℃となりました。



## ■ ご参考：当社の環境への取り組み

当社では、主宰する全国約400社の日本最大のホームビルダーネットワーク「ジャブネット」とともに、2003年に次世代省エネ住宅や太陽光発電搭載オール電化住宅、また2007年には国の認定基準を高水準でクリアした長期優良住宅をいち早く開発・販売してきました。これらの実践を通じてエコ住宅に関するノウハウを積み重ねてきた結果、2009年11月には「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」(※1)への提案採択。同年12月には、埼玉県住宅供給公社がさいたま市見沼区で実施する「エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクト」(※2)の企画提案コンペにて当社が提案した“自然と共生しながらCO<sub>2</sub>排出を削減する工夫”が高く評価され協賛企業として採用されました。さらに2010年3月には、(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅認定(システム供給型)」(※3)を受けるなど、家づくりを通じた環境配慮の取り組みが公的にも評価されています。今年には太陽光発電とガス発電に蓄電システムを搭載した「めぐるecoW」を発売し現在多くのお問い合わせをいただいています。年間の光熱費を約66%カットし、排出するCO<sub>2</sub>量も年間約900kg削減(数値はいずれも東京ガス試算)。蓄電池を搭載することで万一の停電した場合でも3時間は通常と変わらない生活が可能なお住まいとしています。

### ※1 住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業に採択

国土交通省が実施する平成21年度第2回「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」新築戸建住宅提案部門に応募した「つくり手・すまい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省CO<sub>2</sub>木造住宅」の提案が採択。住宅のライフサイクルにおける省CO<sub>2</sub>対策、建設・居住・解体といった各段階でCASBEEライフサイクルCO<sub>2</sub>評価の試算によるとCO<sub>2</sub>が41%削減。つくり手・すまい手・近隣が一体となった省CO<sub>2</sub>対策 つくり手においては、資材配送を自社物流センターの計画配送により搬入回数を削減。地域産材活用による地産地消の実現やガラス繊維協会によるマイスター認定取得者による断熱工事の実施、近隣住戸への影響を考慮した街区レベルでの省CO<sub>2</sub>設計の実施。

### ※2 エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクトに採用

「エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクト」とは、埼玉県住宅供給公社が保有する、さいたま市見沼区(ファミリータウン東大宮)の宅地9区画(156.53㎡~168.35㎡)を昨年4月よりエコ住宅用として埼玉県民に分譲し、協賛企業として採用された当社を含む民間住宅会社3社が住宅建設を請け負う共同事業。なお、宅地購入者には、東京ガス㈱の「エネファーム」や太陽光発電パネルなどを設置したエコ住宅を建設することを条件に、最大200万円まで宅地価格を減額し、エコ住宅の建設を支援。

### ※3 環境共生住宅認定取得

(財)建築環境・省エネルギー機構より昨年3月に「環境共生住宅認定(システム供給型)」を受ける。環境共生住宅とは、地球環境を保全する観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また、周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住まい手が主体的に関りながら、健康で快適に生活できるよう工夫された、環境と共生するライフスタイルを実践できる住宅、および、その地域環境のこと。今回の認定は、環境共生住宅(システム供給型)として、環境共生住宅をホームビルダーネットワーク「ジャブネット」の中で、確実に施工・管理し、供給する点が評価されたもの。